都市計画道路和佐山口線

都市計画変更案に係る説明会における質疑応答（概要）

説明会でいただいた主な質問と市の回答を、概要として整理しています。

Q1　全体事業費を教えてください。

A. 約 64 億円と想定しています。ただし、詳細設計や用地補償費の算定等の結果により、事業費が変更となる場合があります。

Q2　事業期間を教えてください。

A. 10 年間と想定しています。ただし、予算や用地買収の進捗状況等により、事業期間が変更となる場合があります。

Q3　事業認可取得後に事業はどのように進んでいくのか。

A. 現時点では、まずは令和 9 年度の事業認可取得を目指して進めているところです。予算が確保できましたら、事業認可取得後に測量及び詳細設計を進めていきたいと考えています。

Q4　測量及び詳細設計は令和 9 年度予算での実施を予定しているのか。

A. 令和 9 年度の予算計上に向けて進めていきたいと考えています。ただし、国の補助金の活用を想定しているため、予算が確保できるかは現時点では未決定となっています。

Q5　用地買収はいつごろから始まるのか。

A. 令和 9 年度に事業認可の取得を予定しております。事業認可を取得した後に測量及び詳細設計を実施し、詳細設計完了後、用地測量を行ってから順次用地買収を進めていく予定です。

Q6　工事はいつごろから始まるのか。

A. 順次用地買収を進めながら、一定の用地が取得できた箇所から、工事を進めていきます。

Q7　今回の計画図面から今後変更となる可能性はあるか。

A. 事業認可を取得した後に測量及び詳細設計を実施し、道路の計画線を確定していくことになりますので、変更となる場合があります。

Q8　本線が旧県道船戸海南線（市道和佐 86 号線）の上空を通過すると、地区にとってのメリットが少なくなるので、自治会と相談しながら、詳細設計を進めてほしい。
A. 現状の計画では、市道和佐 86 号線と平面形状で接続する形としています。詳細については、自治会と協議をさせていただきながら、設計を進めていきます。

Q9　土地の価格の算定方法を教えてください。
A. 土地の価格については、不動産鑑定士による鑑定を行い、地権者の方と個別に協議させていただきます。

Q10　建物の補償費の算定方法を教えてください。
A.　用地測量を実施した後、個別に物件の調査を行い、国の補償基準に基づいて算定します。

Q11　登記手続きは市が行うのか。
A. 登記手続きは市が行います。

Q12　騒音・振動・日照権等の環境面の問題についてどのように考えているのか。
A. 環境面の問題については、工事の進捗状況や完成後の交通量等を踏まえながら、適切に検討していく必要があると考えています。

Q13　県道岩出海南線は 4 車線化されるのか。
A. 県道岩出海南線については、和佐山口線との接続部より西側の 4 車線化に向けて、県と協議を進めているところです。